

# 工事施工状況報告書

(建築基準法第12条第5項、大和市建築基準法施行細則第19条)

(第一面)

年 月 日

建築主事 あて

下記に関わる工事の施工結果について次のとおり報告します。

なお、確認申請図書と照合した結果、  
変更は有りません。  
変更が有るので、別添のとおり報告します。

報告者	<input type="checkbox"/> 工事監理者	住所 資格 ( ) 級建築士 ( ) 登録 ( ) 号 事務所名 ( ) 級建築士事務所 ( ) 登録 ( ) 号 氏名 ⑩
	<input type="checkbox"/> 工事施工者	住所 資格 建設業の許可 大臣・知事 ( ) 号 会社名 氏名 ⑩
建築主	住 所 氏 名	
工事概要	工事名称 確認済証 年 月 日交付 第 号 建築場所 大和市 構 造 <input type="checkbox"/> 枠組壁 <input type="checkbox"/> 木質プレハブ <input type="checkbox"/> その他 階 数 地上 階 地下 階	

(注意事項)

1. 中間検査又は完了検査申請時に提出して下さい。又、確認申請図書と照合した結果、変更が有る場合は報告して下さい。
2. 第一面から第三面の該当する部分のにチェックをして下さい。
3. 第二面、第三面の ( ) の部分に記入をして下さい。又、施工結果について結果欄の「適・不適・該当無」の該当するものに○印を付けて下さい。
4. 下記に示す工事写真等を添付して下さい。
  - ・耐力壁の配置及び種類が分かる図書(中間検査の申請時に添付)
  - ・工事写真(中間検査の申請時には①②を添付)
    - ①立上り部分を含んだ基礎の配筋状況(鉄筋径、間隔が確認できるもの)
    - ②型枠取り外し後の基礎形状が確認できるもの
    - ③アンカーボルト、土台と枠組み等の緊結、耐力壁の合板の釘打ちの間隔、立て枠の間隔等材等が確認できるもの
  - ・建築主事が必要と認めるもの ( )

## (第二面 枠組壁工法用)

No	確認項目	施工状況	結果	備考
1	基礎種別	<ul style="list-style-type: none"> <li>種別の確認</li> <li><input type="checkbox"/>布基礎 <input type="checkbox"/>べた基礎 <input type="checkbox"/>独立基礎</li> <li><input type="checkbox"/>杭基礎：杭種（ ） 径（ ） mm</li> <li>長さ（ ） m</li> </ul>	適・不適・該当無	令 38 建 1347 国 1113
		<ul style="list-style-type: none"> <li>支持層の確認方法（ ）</li> <li>地盤改良の有無 <input type="checkbox"/>無 <input type="checkbox"/>有(工法： )</li> </ul>	適・不適・該当無	建 1347 国 1113
2	鉄筋工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>底版の主筋の品質</li> <li><input type="checkbox"/>JISG3112 に定める鉄筋コンクリート用棒鋼</li> <li><input type="checkbox"/>その他（ ）</li> <li>種類 <input type="checkbox"/>異形棒鋼 <input type="checkbox"/>丸鋼 径（ ） mm</li> <li>間隔（ ） mm</li> </ul>	適・不適・該当無	建 1542 建 1347
		<ul style="list-style-type: none"> <li>立上り部分の主筋の品質</li> <li><input type="checkbox"/>JISG3112 に定める鉄筋コンクリート用棒鋼</li> <li><input type="checkbox"/>その他（ ）</li> <li>種類 <input type="checkbox"/>異形棒鋼 <input type="checkbox"/>丸鋼 径（ ） mm</li> <li>間隔（ ） mm</li> </ul>	適・不適・該当無	建 1542 建 1347
		<ul style="list-style-type: none"> <li>立上り部分の補強筋の種類 <input type="checkbox"/>異形棒鋼 <input type="checkbox"/>丸鋼</li> <li>径（ ） mm</li> <li>間隔（ ） mm</li> </ul>	適・不適・該当無	建 1347
		<ul style="list-style-type: none"> <li>換気口、配管貫通部等の補強 <input type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無</li> <li>種類 <input type="checkbox"/>異形棒鋼 <input type="checkbox"/>丸鋼 <input type="checkbox"/>その他（ ）</li> <li>径（ ） mm</li> </ul>	適・不適・該当無	建 1347
3	コンクリート 工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計基準強度（ ） N/m<sup>2</sup></li> <li>4 週圧縮強度（ ） N/m<sup>2</sup></li> <li>スランプ値（ ） cm</li> </ul>	適・不適・該当無	令 74 建 1446
		<ul style="list-style-type: none"> <li>かぶり厚さ</li> <li>底版（ ） cm 立上り部分（ ） cm</li> </ul>	適・不適・該当無	令 79
		<ul style="list-style-type: none"> <li>底版の配置、寸法、及び、立上がり部分の配置、寸法</li> </ul>	適・不適・該当無	建 1347
4	材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料の規格</li> <li>土台（ ）</li> <li>床根太（ ）</li> <li>壁上枠、頭つなぎ（ ）</li> <li>壁のたて枠（ ）</li> <li>壁の下枠（ ）</li> </ul> <p style="text-align: center;">※例 JAS 甲種枠組材 1 級</p>	適・不適・該当無	国 1540 第 2
5	土台	<ul style="list-style-type: none"> <li>土台と基礎の緊結方法、位置</li> <li><input type="checkbox"/>アンカーボルト：長さ（ ） cm 径（ ） mm</li> <li>間隔（ ） m</li> <li><input type="checkbox"/>その他（ ）</li> </ul>	適・不適・該当無	国 1540 第 3
6	床板	<ul style="list-style-type: none"> <li>床根太相互の最大間隔（ ） cm</li> <li>床材仕様（ ）</li> </ul> <p style="text-align: center;">※例 構造用合板 厚 15 mm</p>	適・不適・該当無	国 1540 第 4
		<ul style="list-style-type: none"> <li>2 階又は 3 階の耐力壁直下の耐力壁の有無</li> <li><input type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無（無い場合の転び止めの施工：<input type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無）</li> </ul>	適・不適・該当無	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>床版の各部材相互、枠組材と土台又は頭つなぎとの接合</li> <li><input type="checkbox"/>国告 1540 号第 4 第 7 号の表による</li> <li><input type="checkbox"/>その他（ ）</li> </ul>	適・不適・該当無	

## (第三面 枠組壁工法用)

No	確認項目	施工状況	結果	備考
7	壁等	耐力壁のたて枠相互の最大間隔 ( ) cm	適・不適・該当無	国 1540 第 5
		・屋外に面する部分で、隅角部、開口部両端の耐力壁のたて枠と直下の床の枠組みとの緊結方法 □金物 □その他( )	適・不適・該当無	
		耐力壁の上枠と同寸法以上の頭つなぎの設置	適・不適・該当無	
		幅 90 cm以上の開口部上部のまぐさの設置	適・不適・該当無	
		・壁の各部材相互、壁と床版、頭つなぎ、まぐさ受けの緊結 □国告 1540 号第 5 第 15 号の表による □その他 ( )	適・不適・該当無	
8	横架材	床根太、天井根太その他の横架材に対する中央部付近下部の欠込みの有無 □有 □無	適・不適・該当無	国 1540 第 6
9	小屋組等	たるき相互の最大間隔 ( ) cm	適・不適・該当無	国 1540 第 7
		たるきつなぎの設置	適・不適・該当無	
		たるき、トラスと頭つなぎ及び上枠との緊結	適・不適・該当無	
		振れ止めの設置	適・不適・該当無	
		屋根下地材 ・材料 ( ) ※例 構造用合板厚 9 mm ・最大たるき間隔 ( ) cm	適・不適・該当無	
小屋組各部材相互及び小屋組の部材と頭つなぎ、屋根下地材の緊結	適・不適・該当無			
10	防腐措置	鉄網モルタル塗り仕上等の場合の壁、土台への防水紙の施工	適・不適・該当無	国 1540 第 8
		地面から 1 m以内の床根太、床材を除いた構造耐力上主要な部分に対する防腐、防蟻措置	適・不適・該当無	